

「労働時間の短縮」

週40時間労働 完全にスタート!



桜の花も散り、世情の景気は今一つ。私共の周囲は、時の改革の真っ直中。最近特に行革の話も、身近な処でも異変が起きています。又一方では、専門工業者間に於いても、統廃合の噂もちらほら。当分の間は、厳しさから逃れる事は出来ないだろう。そんな厳しさの中で四月一日よりスタートした時短の問題、新制度の主旨から見て、避けて通る訳にはいかぬもの。早期採用に踏み切らねばと、対応に苦慮している現状。昨年実施した労働環境改善フィジビリティ調査事業の一環として、労働時間短縮などにより、

体験した実態を参考に、再認識を新たに考えてみよう。
特別措置対象事業を除き、全面的に週40時間労働に移行する事となり、週の所定労働時間を40時間以内とするためには、次の4つの基本パターンがあり、試案として見ては、
①一日8時間とし、完全週休2日制とする。
②一日7時間30分とし、4週7休制とする。
③一日7時間15分とし、隔週週2日制とする。
④月一金は7時間20分、土は3時間20分とし、週休1日制とする。
又はこのほかに、
◎一年単位の変形労働時間制を使って、一日8時間、年間休日数105日とする方法。
◎一日6時間40分以内とし、週休一日制とする方法なども考えられます。
※先ずは一年単位の変形労働時間制とは、



● 隔週週休2日制を基本とした変形制度
まず一日当たりの所定労働時間を8時間とし、隔週週休2日制とし、年間の休日は78日になります。これに年13回の国民の休日を加え、さらに、年末・年始やゴールデンウィーク、夏期休暇(盆休)として14日を休日とすると、更に年間の休日は105日となります。その結果、年間の労働日数は365日から105日を引くと260日になり、所定労働時間は2080時間になります。これを週平均(一年間は365日÷7日は約52・14週、さすがに40時間を下回りますが、若干の調整により40時間となります)方式は、
(10×365÷7=2085)
● 繁忙期を週休1日とし、その他の週休2日とする変形制
年末から年度末にか

本制度において、変形期間における所定労働時間の限度は、次の計算式で計算されます。

$$\text{変形期間における所定労働時間の総枠} = \frac{40\text{時間}}{(42\text{時間})} \times \frac{\text{変形期間中の暦日数}}{7\text{日}}$$

(例) 猶予措置対象事業場のうち規模100人以下のものは42時間です。

これによって計算される主な変形期間の限度労働時間は、次表の左欄とおります。また、1日の所定労働時間が8時間、7時間30分の事業場における限度労働日数は下欄のとおります。

対象期間 (暦日数)	限度労働時間		限度労働日数 (1日8時間の場合)		限度労働日数 (1日7時間30分の場合)	
	猶予措置対象事業場のうち規模100人以下のもの(週42時間)	左以外の事業(週40時間)	猶予措置対象事業場のうち規模100人以下のもの	左以外の事業	猶予措置対象事業場のうち規模100人以下のもの	左以外の事業
1年(366日)	2,196	2,091.4	274	261	292	278
1年(366日)	2,190	2,085.7	273	260	292	278
6ヵ月(183日)	1,098	1,045.7	137	130	146	139
3ヵ月(92日)	552	525.7	69	65	73	70

本制度を採用した場合に、法定の時間外労働(36協定の締結、割増賃金の支払いが必要)となるのは次の時間です。

- ① 1日…労使協定により8時間を超える時間を定めた日はその時間、それ以外の日は8時間を超えて労働した時間
- ② 1週間…労使協定により40時間(猶予措置対象事業場においては44時間)を超える時間を定めた週はその時間、それ以外の週は40時間(同44時間)を超えて労働した時間(①で時間外労働となる時間を除く。)
- ③ 変形期間…次の式によって計算される変形期間における法定労働時間の総枠を超えて労働した時間(①又は②で時間外労働となる時間を除く。)

1年単位の変形労働時間制と年間休日日数…

1年単位の変形労働時間制を採用して週40時間制を達成するためには、1日の所定労働時間に応じて、1年間に少なくとも次の日数の休日を設ける必要があります。(変形期間が1年で、かつ1日の所定労働時間が一定の場合)。

1日の所定労働時間	年間休日日数
8時間	105日
7時間45分	96日(97日)
7時間30分	87日(88日)
7時間15分	78日
7時間	68日

()内はうるう年(366日)の場合



年間の休日数は前述の隔週週休2日の変形制と同様の105日となります。週40時間をクリアし、組合員の方々が、解りやすい表を掲げますので参考にして下さい。
尚、届出に際しては10人以上の従業員を有する企業は、就業規則の変更が必要となります。一方では10人未満

以下の場合には実施内容を添え、協定届を提出すると共に、時間外及休日労働に関する協定も必要となります。更に届出に就いては、年間の休日表も、同時に届出書に添付する事となっておりますので念のため。

沼澤

第八回 大榮商事株式会社



▶代表取締役社長 細野修氏

大榮商事株式会社は、別名空港線といわれる瑞穂区堀田通り五丁目交差点の北東角にある。このあたりは明治の初めまでは大喜村といわれ、大正十年頃は名古屋市南区呼続町といわれていたが昭和九年瑞穂区が成立して現在の堀田通りになった。

すぐ近くには高田街道といわれた雁道商店街や賑町商店街がある。昭和十年頃が最盛期であって万松寺や円頓寺商店街と並びチンドンや芸人と呼んで賑やかな街であった。

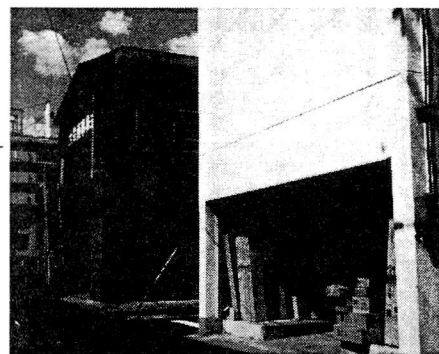
近くには日本ガイシや日本特殊陶業といった大きな会社があり現在でも下町のよき商店街としてにぎわっている。

る。昔、今池というた
め池があったと記録に
あるが、そのせいでは
ないと思うが都市化が
進むにつれちよっと大
雨が降ると堀田通りは
よく水に浸かっていた。
細野社長の話によれば
つい十年ぐらい前まで
はよく道路冠水があり
そのたびに鉄板などを
よけたり拭いたりして
大変であったと語られ
た。昭和六十二年に高
辻雨水帯水池が完成し
てからは解消された。
現在では都市高速が
通り、近くには堀田出
入り口があり交通の便に
は恵まれた場所である。
会社社の創業は初代細
野鎌太郎（故人）が昭
和二十二年頃パチンコ
部品の下請け会社桜商
会を設立したことに始
まり、その後豊田織機
の下請けでパチンコ部
品用の材料（ブリキ板・
真鍮板等）の販売を手
がけ昭和二十四年株式
会社大榮板金を設立し
た。

昭和二十七年に販売部門を株式会社大榮板金商事部に独立した。大榮板金は、大榮技研と社名を変更して現在、は南区でダクトのダンパー等の製作を行っている。昭和四十年社名を現在の大榮商事株式会社とした。昭和四十六年に初代社長死去したことに伴い二代目に娘婿の村井一明氏が就任、平成三年二代目が引退し三代目に現在の社長細野修氏が就任。少数精鋭、必要なものを、必要なだけ、必要な時にをモットーに頑張っている。昨年は金物問屋会の親睦会で楽友会にも加入して視野を広げて会社をリードしている。

以下に会社の概要を紹介する。

商号 大榮商事株式会社
創業 昭和二十二年頃
創業者 細野謙太郎



本社社屋

東三支部総会

第五十八回通常総会
が四月六日「レストラ
ン高千穂会館」にて開
催されました。

愛板より平野理事長、問屋から(株)ウチダ、マルサン金属建材(株)に來賓として御出席を頂きました。

小林副支部長の司会で始まり、先人に対し

黙禱、大友支部長挨拶
「我々が役員をお受け

して早二年、先人達の苦勞が良くわかった。

二十一世紀に向かい前進するためにもっともっ

優良従業員表彰二名

議長選出
前副支部長額額氏が

選出され出席者六十六名、委任状七十通で総

案審議に入りました。

一 号議案
八年度事業報告

三 号議案
八年度會計報告

新役員選出

事業計画案

會計予算案
六号議案

県板報告

七号議案

第一号議案から第六

号議案は承認され第七号議案の質疑応答では規約の一部改正について審議、予算の見直し訓練校指導員選出方法の見直し等が審議され、次期役員に一任と承認されました。

来賓を代表し県板の
平野理事長が挨拶され

グループを作って勉強して下さい。問屋さん

が段取りしてくれたの
ではなく手作り手弁当

の勉強会を、出来るだけ元請けに近い仕事

を、流通を簡素化する努力を、新しい仕

事（製品）の情報も早く受け入れる。東三

ては入らない情報を知っ
ておられる理事長の話

とばかりです。

の葉山部長は相変わら

時間がかるのに、景

い各地方地方で色を出
す時代ではないかと案

二氏の乾杯で始まり、

ラオケまでやる賑やか

新支部長挨拶

さです。新役員の方から花束頂きやっと終わったんだと実感した。旧役員の皆様ご苦労様でした。

組合員の皆様には益々
ご健勝の事とお慶び申
し上げます。この度、
総会の場に於いて東三
支部長を任命され、そ
の重大さに身の引き締
まる思いです。今まで
の組合の流れを引き継
ぎ、時代に合った対応
ができれば幸いと思ひ
ます。何卒皆様方のご
協力とご指導を賜ります
ようお願いいたします。

支部長 平松良之
副支部長 大竹孝昌
副支部長 鈴木芳郎
副支部長 神谷和利
會計 浜島慶三
書記 福山健一
よろしくお願ひします
東三 吉田

平成9年度(第58回)東三板金工業組合通常総会



豊田板金
工業組合

定時総会

平成9年4月6日
(日) 平成8年度豊田板金工業組合の定時総会が豊田市小坂本町の『豊田産業文化センター』に於いて開催されました。松井祐治氏の司会により開会した総会は、西俣組合長の挨拶の後、来賓挨拶を梶板 吉田事務局長、横山眞久横山興業社長、山本清西三板金連合会会長にいただきました。続いて樹神伸光氏を議長に選出して議事に入り、事業報告、会計報告、会計監査報告、技能士会報告、豊田高等職業訓練校講師報告、青年部報告、建設連合会報告が順次可決承認されました。次に平成9年度事業計画(案)の上程があり、これに伴って技能士会及び企画委員会より計画の発表がありました。最後に新入会員2名の紹介がありました。

豊田 松井



広報委員の二年

東三支部の広報委員を先輩の脇坂さんから引き継いでから、あっという間に二年がすぎた。広報をやる前に「愛板」を読ませてもらったが業界紙に私が出た幕はとりあえず三面記事と思い、そういう記事を手がけてきたつもりです。記事を見る度ゴルフの様に「タラ、レバ」がつきまとう。個人、特定の団体名、宗教批判等はしないように心がけてるし、してはならない。

二年間広報委員をやり、いつも思うには組合活動が組合員全員に伝わっているのだろうか? もっと組合員に知って貰うにはどうすればいいのか? 何時も考えてます。ふっと気がついたのが、組織の内容さえ良く知らないのと言えないかもしれないが、理事会、総代会、総務、技術研究、技能、厨房、経営対策、保証事業の各部分と青年部、訓練校がある。青年部を例に取って悪いが、昨年五月の「愛板」の中に第十七回通常総会の記事があり、役員名簿の中に書記二名の名があるが定例会や役員会の議事録はどこに保管してあるのか、式次第はだれが書くのかお聞きしたい。各支部の議事録は、各支部の事務所でみれるのか。そこで二ツ提案したい。一つは、五月には新役員が決まる。新役員の方々に年間スケジュールを提出していただき、「愛板」に載せ、「各支部の動き」と同様に「各支部の動き」を載せてはどうか。そうすれば組合員の方々に支部の動きがわかる。他はほとんど無いが、部長に頼りすぎないか。部会の役割分担を明確にすべきである。部長、司会、書記等約千店の組合員を代表する部長長なのだという認識が無ければ全国区には通用しない。厳し

い事は書いたが情報は平等と思うからだ。二ツ目は四月号で書いたが、メジャーといわれるハウスメーカーが宣伝と営業に本腰を入れるため、零細・中小のハウスメーカーに明日は無いと書いた。一番怖いのは連鎖倒産ではないでしょうか。そういう情報収集も組合の仕事になり、経営対策部会に組み入れてはどうか。同業者、異業者、問屋さん等情報を集め新聞に載せられない。何らかの方法を取らなければなるまい。場合によってはその筋の新聞を梶板で取り寄せ、誰もが閲覧出来るようにしてはどうか。倒産件数が一番多いのは建設業……。五月二日の日本経済新聞に「スチールハウス」に取り組む大手鉄鋼会社が、共同で建設省に申請している。システム認定が六月にも取得でき、制度面の環境が整ったとある。九七年度建築戸数は川崎製鉄が五十戸、住友金属工業・神戸製鋼所が三十戸、NKKが十戸、二十戸。新日本製鉄は具体的な数字は挙げていないが他社並みとあり、いよいよ本格的に動き出す。我々も一歩前進する時が来た。

東三 吉田



3月各支部の動き

- 中村支部 18日 定例総会14名
- 西支部 15日 支部総会13名
- 昭和支部 8日 定例会
- 緑支部 30日 健康保険更新と例会
- 江南支部 17日 支部総会17名
- 春日井支部 8日 定例支部会
- 23日 支部役員会
- 碧南支部 4日 青年部ボーリ
- 20日 支部研修会
- 和倉温泉加賀屋
- 昭和支部 7日 定例会(役員改選)
- 一宮支部 17日 支部役員会
- 21日 青年部例会
- 小牧支部 28日 夕食会(旅行の件、総代会の件、資格講習の件)
- 江南支部 15日 支部役員会
- 津島支部 5日 支部総会17名
- 春日井支部 8日 定例支部会

4月各支部の動き

- 中支部 20日 支部研修会
- 西三板金連合会 25日 幹事会42名
- 刈谷支部 3日 人間ドック健康診断申込み
- 5月9日予定
- 知多支部 18日 支部理事会
- 25日 第1回役員会
- 東三支部 6日 支部総会70名
- 8日 定例会
- 10日 青年部定例会
- 17日 組合・訓練校青年部合同会議
- 22日 組合・問屋5
- 社会 25日 三役会
- 27日 地引網 細谷海岸200名
- 12日 青年部総会
- 15日 支部新旧三役事務引継ぎ
- 安城支部 27日 支部総会(役員改選・新支部長に神谷義幸氏)
- 知多支部 16日 支部総会100名
- 5日 青年部総会
- 東三支部 1日 定例会22名
- 18日 新旧三役会
- 21日 新旧役員事務引継ぎ
- 25日 会計監査
- 29日 青年部総会
- 31日 三役会
- 23日 支部役員会
- 25日 幹事会42名
- 3日 人間ドック健康診断申込み
- 5月9日予定
- 知多支部 18日 支部理事会
- 25日 第1回役員会
- 東三支部 6日 支部総会70名
- 8日 定例会
- 10日 青年部定例会
- 17日 組合・訓練校青年部合同会議
- 22日 組合・問屋5
- 社会 25日 三役会
- 27日 地引網 細谷海岸200名

編集後記

裏の田んぼで蛙のコーラスが日に日に賑やかになって来た。桜はあつたが、新緑のてしまったが、新緑の中に真っ白なこぶしの花や赤紫の山ツツジ、晴れやかな黄色のれんぎょうやタンポポ達に彩りを競い、農村公園には数百匹の鯉のぼりが泳ぎ、遠浅の浜で採れるアサリ貝の匂の味など、ど田舎に住む者にとって季節感を肌で感じ満喫できる最高の時である。しかし自然に囲まれた我が家の周辺も土地改良で野山の削られ、竹藪が無くなってこの時期一番の好物である竹の子堀ができなくなったのは残念でならないがど田舎暮らしも住めば都である。間もなくゴールデンウィークや道路の整備が進み新鮮なグルメと天然温泉、潮干狩りで年々客足が伸びて結構な事であるが空缶の投げ捨てやゴミの放置、不法駐車など迷惑行為をしない事を厳禁して行楽を楽しんで貰いたい。四月二十五日(金)晴三六号編集会議委員 五名 出席 午後五時半終了(S)